

2023 年 9 月

## 成果 2 パイロット活動 フォンセカ湾：パイロットプロジェクトで生産した鯛の試食

パイロットプロジェクトの対象集落はニカラグア国チナンデガ県のマングローブ林に囲まれたパドレ・ラモス自然保護区の中にあります。ニカラグア政府は沿岸域集落での鯛養殖を推奨しており、本集落も組合を結成しこれを実践しています。

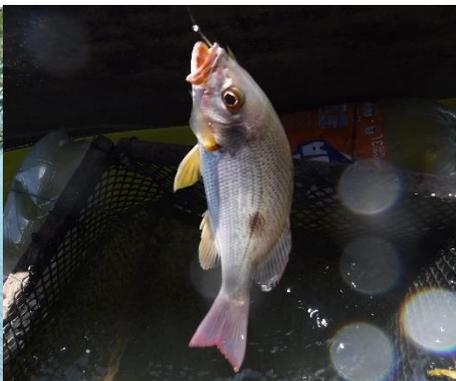
一般に鯛の養殖の経費の大部分は、稚魚と餌の購入費です。ニカラグアでは稚魚の生産が行われていないため、養殖組合メンバーは野生の稚魚を釣りで入手しています。また、餌は、この地域では廃棄物であるエビの頭を加工業者から輸送費のみ支払い確保しています。つまり、生産費は安いです。

本集落の養殖の問題点は、“乾季に 2 か月ほどエビの水揚げが停止する間、鯛に餌を与えられないこと”と考えられていました。しかし、現状を確認したところ、これ以外にも、養殖の技術面での問題が複数見つかりました。たとえば、一度に大量のエビの頭を与えるので食べ残しが多く、効率が良くありません。そこで、エビの頭を主原料として、市場で価値の低い小さな魚や、自分たちで大豆から抽出した油やニカラグアで生産している芋からとれるデンプンを用いたペレット餌を製造すると共に、これら技術を改善することにしました。今後、ペレット餌による養殖の採算を確認、併せて、採算強化策の一環として鯛のプロモーション活動も開始していきます。

2023 年 9 月 22 日に環境省大臣が現場を訪問して下さいました。訪問では現場活動を見て頂くと共に養殖した鯛の試食もして頂きました。



養殖施設見学



鯛の稚魚



鯛のポワレ・バジルソース



鯛の試食会